

学校図書館だより

No.10 令和7年3月3日

和田中学校図書館 学校司書 高橋理恵

年度末の返却



3年生 3月7日(金)まで
1.2年生 3月13日(木)まで

借りている本はすべて返却してください。
17日(月)以降は閲覧の利用はできます。

学級
文庫

学級文庫を学校図書館へ返却

3年生 3月11日(火)
1.2年生 3月21日(金)

2学期の未返却本があります。もう一度探してみてください。

3月の開館カレンダー

	月	火	水	木	金
	3	4	5	6	7
昼休み	○	○	○	○	○
放課後	○	○	委員会	○	○
	10	11	12	13	14
昼休み	○	○	○	○	—
放課後	○	○	—	○	—
	17	18	19	20	21
昼休み	○	卒業式	○	春分の日	○
放課後	○	—	—	—	○
	24	25	昼休みは 13:05~13:25 放課後は 15:35~16:10		
昼休み	○	修了式			
放課後	○	—			

今月のおすすめの本

～ 耳・聴く ～

3月3日は耳の日です。聞こえるしくみ、聴覚に障害がある方の困りごと、聴く力が必要なお仕事など展示をしています。

『蝶の羽ばたき、その先へ』

森楚 こみち/著 小峰書店 [913/も]

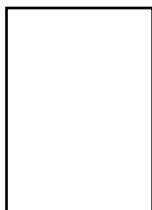


中2の結は、左耳の耳鳴りと聞こえにくい日々が続いて、耳鼻科に行きます。突発性難聴と診断され、治療が早ければ治ることもあるようだったがよくならず、友達にも

病気のことを打ち明けられずにいました。そんな時、手話サークルでの出会いによって心の変化が生まれます。

『羊と鋼の森』

宮下 奈都/著 文芸春秋 [913/み]



高校生の時、学校を訪れた調律師の板鳥の音にひかれて調律師を目指すことにした外村。ピアノも音楽にも全然興味を持っていなかったが、板鳥の紹介の学校に行き、同じ

会社に入り、調律師として悩みながら先輩達の言葉にヒントを得ながら音と向き合っていきます。

『ぼくが生きてる、ふたつの世界』

五十嵐 大/著 幻冬舎 [916/い]



ろうの両親の元に生まれた著者。小さな港町で暮らして障害者の子どものように見られていることに気づき、誰も知らない場所であつうに生きたいと思い東京で働きはじめま

す。そこで、手話サークルに入り「コーダ」(聞こえない親を持つ子ども)の仲間と出会います。

新しい本が入りました

他にも本があります。
貸出中のときは予約ができます。

分類	書名	著者など	出版社
伝記	289 お 大谷翔平特集		repicbook
科学	402 え 江戸の科学大図鑑	太田 浩司/監修	河出書房新社
浮世絵	721 た もっと知りたい 葛屋重三郎	田辺 昌子/著	東京美術
文学	913 お 転の声 ☆	尾崎 世界観/著	文芸春秋
	B 913 あ 浜村渚の計算ノート 11 さつめ	青柳 碧人/[著]	講談社
多言語	913 よ りんごかもしれない 中国語・韓国語・フランス語	ヨシタケ シンスケ	
絵本	933 ぶ The Lion Inside ネパール語	Rachel Bright	

裏面は《今年度の図書館利用状況》